



もりき つばさ  
4年 | 森木 翼 さん [鳥取県立倉吉高等学校 出身]

### ■ 東郷池が抱える環境問題を研究したい

僕は小学生の頃から自然や生物が好きで、実家近くにある「東郷池」に棲息する魚を観察したり、周囲の自然環境に親しんできました。高校生になってからも清掃作業や水質調査のボランティアなどに参加、その中で地元が抱える環境問題に気付き、鳥大で環境について学びたいという気持ちが芽生えてきたんです。

AO受験を決めたのは8月後半と遅く、大急ぎで願書を作成。自分の考えを文章にするのが難しく、最初は結論だけしか書けなくて。でも大事なはその理由や過程。流れも意識しながらなんとかまとめ、ギリギリで提出。面接練習では鏡で表情をチェック、笑顔と、会話するような気持ちで話すよう心がけました。

### ■ 失敗しても巻き返しは可能。前向きに！

2次試験では課題作業が一番難しかった。どんなグラフを作ればいいのか、そこから何が読み取れるのか、「間違えちゃったかも」という思いのまま時間切れ。大学ではこういう作業が多いので、今から練習しておくで役立ちますよ。

最後の個人面接は、課題作業での失敗を挽回すべく挑みました。課題作業のことを問われたけど、ただ「できませんでした」と答えるのではなく「次にやる時はこうだろうと思う」とポジティブな展開で返答。AO入試では何が起こるか分からないから、最後まで絶対にあきらめないこと。あとは、積極的にフィールドに出て実体験を積み重ねておくこと。それが何よりの強みになるはずだから。

### ■ 平成28年度AO入試で求める人物像

募集人員(予定)：5人

【趣旨】地域環境(自然・歴史・資源・エネルギー・ライフスタイル)をトータルに学習し、調査・研究の実践力を身につけ、地域の環境づくりに貢献できる人材を育成します。地域環境学の課題解決に向けて、とくに意欲と実行力をもつ人を様々な観点から総合的に評価するAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する、意欲ある人を求めます。

- 自然のなりたち、生態系の機能を学術的に学び、環境保全にとりくみたい人
- 自然と人の関係を歴史や考古学の面から学び、地域の共生史を解明したい人
- 環境にやさしい資源・エネルギー利用や産業・情報システムを創造したい人



### 自転車に乗って海釣りへGO!

時々近くの賀露海岸へ海釣りに出かけます。自転車で行けるんですよ。県外から来た友達を誘うと大喜び。スズキやキス、カレイ、アジ等、釣った魚は焼いたり揚げたりして美味しく頂きます。

## 平成27年度AO入試 第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成27年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成28年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

### 全体を通して求める力

自然現象や社会的現象などに対する科学的な視点や考え方、課題文や図表資料を読み解く読解力、面接での質問を聞き取る理解力、自分の考えを伝えるために必要となる論理的思考力、自己表現力、文章構成力、作図能力を求めます。

小論文	縄文時代の貝塚に関する英文資料(A4版で1枚)と、生物資源利用に関わる日本文(A4版で3枚)を読み、120分で設問(2問)に解答するものでした。設問の内容は、英文資料の内容を要約するものと(300字以内)、「持続可能な生物資源利用」はどうあるべきかについて論じるものでした(800字以内)。
課題作業	騒音の発生源別にみた苦情件数のデータから東北6県と北海道を抜粋し、あわせて県人口の数値を表で示したうえで、これらの関係性がわかる新たな表を2種類作り、グラフを作成して、読み取れることを箇条書きするものでした(解答時間90分)。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり15分程の面接を行いました。